

様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

貴企業において重点的に取り組んでいる安全衛生についての事例を記載して下さい。

提出に当たっては、次のいずれかに○をつけて下さい

- 企業名、取組事例いずれも厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページに掲載されることがあることに同意する
- 取組事例のみ厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページに掲載されることがあることに同意する
- 企業名、取組事例いずれも厚生労働省（及びその委託を受けた）ホームページの掲載に同意しない

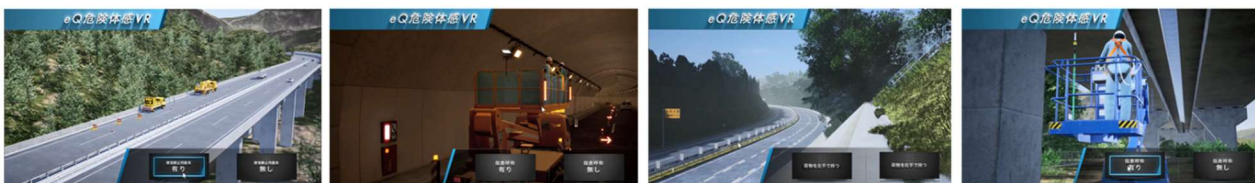
企業名	西日本高速道路エンジニアリング九州㈱
-----	--------------------

安全衛生取組事例
1. 危険感受性を高めるための体感型 VR 開発[eQ 危険体感 VR]
2. 安全パトロール
3. 総合安全教育[当社独自の新たな安全教育]
4. 安全運転の取り組み[車両運転中の事故“ゼロ”を目指す]
5. 社員と経営者（社長及び役員）による直接の意見交換
6. 安全啓発ポスター（若年社員と社長）
7. コミュニケーション向上への取り組み[外部講師による講演会]

# 1. 危険感受性を高めるための体感型 VR 開発 [eQ 危険体感 VR]

事故の危険を疑似体感することで、危険感受性の向上に繋がっています。自社の事故事例又は今後起こりうる事故を想定して、現在、8つのコンテンツを開発済みです。

□橋梁点検車「床版下面」(墜落編) □高所作業車「トンネル」(挟まれ編) □のり面「切土」(落下物編) □高所作業車「高架下」(転倒編)



□ポンプ交換「ポンプ室」(感電編) □はしご「電気室」(墜落編) □高所作業「情報板」(墜落編) □車両「後退」(接触事故編)



(橋梁点検車からの墜落を体感中)



(はしごからの墜落を体感中)



# 2. 安全パトロール

職場の危険性又は有害性を早期に発見し除去・低減対策を行うために、役員や本社安全部署社員による安全パトロールを行っています。現場指導のほか、関係法令や社内規則が守られているか書類の監査も行っています。また、各事業場で毎月実施されている安全会議にも参加し、意見交換なども行っています。

①安全会議の参加



②書類監査



③現場パトロール

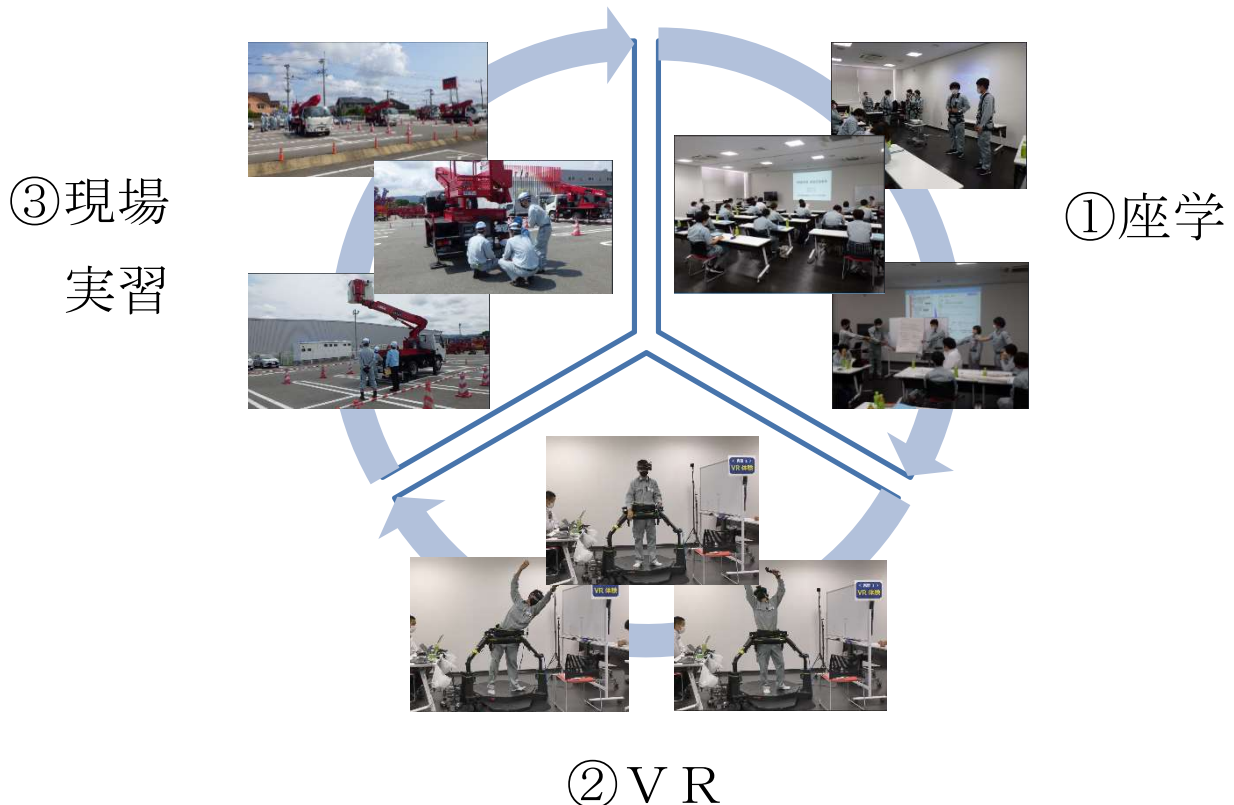


◎役員パトロール



### 3. 総合安全教育[当社独自の新たな安全教育]

座学と体感型VR、現場実習で構成し、①座学→②VR→③現場実習の順序で行っています。この流れは、実際の安全教育の場に参加した社員の意見に基づいて決めました。座学で安全の基礎を学び、VRで事故の危険を疑似体感し、危険な状況をイメージさせ、現場実習で基本ルールに則り、安全で正しい機械操作等の訓練を行います。従来の座学や現場実習教育に比べ、危険感受性を高める効果があります。



### 4. 安全運転の取り組み[車両運転中の事故“ゼロ”を目指す]

車両運転中の事故を“ゼロ”にするためには、業務用車両になれることが必要と考え、各事業場で日々、さまざまな取り組みを行っています。自身の運転技量の把握や同僚の運転を見ることで、運転技能及び安全運転の意識を向上させ、安全運転の定着を図っています。

#### (1) 事業場の取り組み

##### ①内輪差試験（筆記試験）



②車庫入れ



③たこつぼ



④死角確認



⑤雑巾踏み



⑥高さ制限



[運転手が乗車中のミニカーの高さ制限を表示]

(2) シミュレーター教育



### (3) VRを活用した運転事故の疑似体感

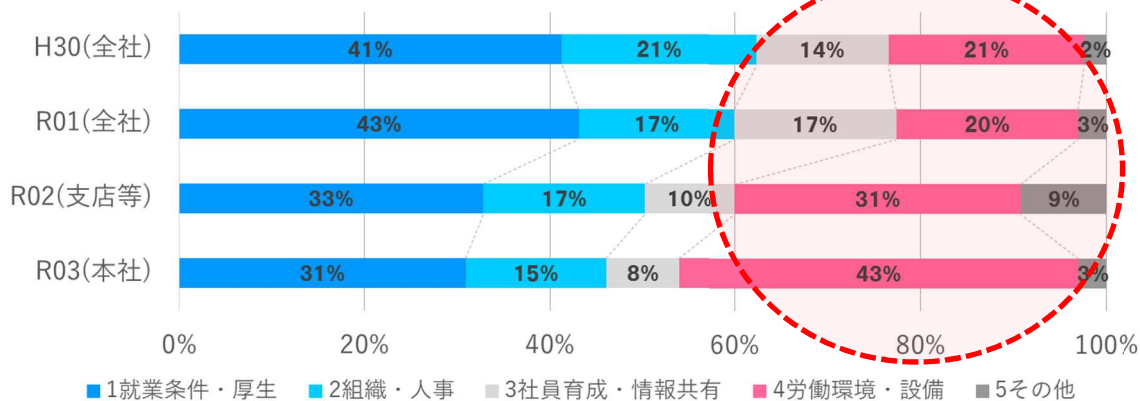


## 5. 社員と経営者（社長及び役員）による直接の意見交換

社員と経営者が、直接意見交換を交わす場を、年1回設けています。本社及び支店、点検事務所、営業所ごとに実施しています。直接対話式とし、社内基準、職場環境及び業務など全てを対象に疑問点や改善要望点等の意見交換を行っており、社員と経営者とのコミュニケーション向上やお互いの意思疎通が図られ、一体感の熟成に繋がっています。



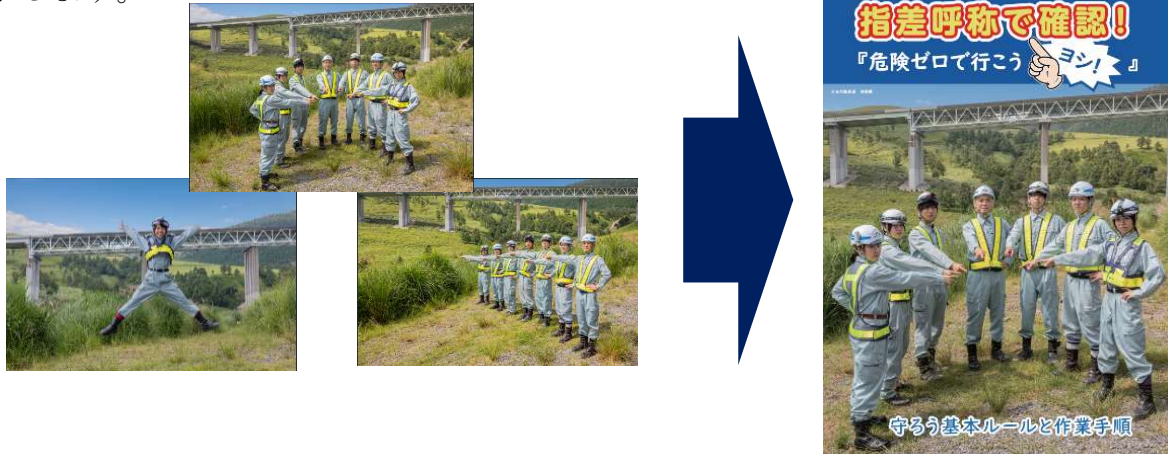
意見内訳の推移



年々、安全衛生等に関する割合が多くなってきており、職場環境の更なる改善に向けた意識が変化してきている表れと言えます。

## 6. 安全啓発ポスター（若年社員と社長）

毎年、現場の若年社員と社長が意見を交わしながら、“危険ゼロ”を目指した安全啓発ポスターの作成に取り組んでいます。作成したポスターは、各事業場で1年間掲示します。



## 7. コミュニケーション向上への取組み[外部講師による講演会]

『[円滑なコミュニケーションは無災のもと～現場安心安全を支える3つのチカラ～](#)』を題材として実施。職種や役職、年齢を問わず、社員も派遣社員も区別することなく参加してもらい、みんなでコミュニケーション向上を目指しています。

- ▶ 本社や支店、点検事務所、営業所から自由に参加
- ▶ 座席は自由（役員が最前列とはしない）

